



6年生が今年も「釜そうじ」に挑戦!

前途洋々

毎年この時期に、6年生は、黒砂糖づくりに使用する「釜」の掃除を体験させていただいています。いよいよ今週末に近づいた黒砂糖締め。黒砂糖づくりに毎年関わらせていただけているとはいえ、その学年でしかできない活動もあります。その一つが、6年生が行うこの体験。今年も11月25日(火)の3・4時間目に行いました。釜はびかびかで、いろいろな人たちの思いを映し出すような美しさがあります。高濱会長様をはじめ、保存会の皆様の手ほどきを受けながら、作業を進めていきました。また、作業には、吉川会長様、森川施設環境委員長様にも来ていただき、大変心強かったです。天気予報によれば、今週末の天気は心配なさそうです。本番もうまくいくこと間違いなしです。

(写真左：釜を磨き上げる子供、右：今回もご指導いただいた高濱会長様。お忙しいところ誠にありがとうございました!)



今年も充実した学びができました! ~ 6年修学旅行

11月19日(水)・20日(木)の2日間、長崎、佐賀方面へ修学旅行に行ってきました。もちろん第一の目的は平和学習を深めること。約1ヶ月前、後期が始まった時点から、6年生は担任の先生と事前学習をじっくり進めてきました。とてもすてきな旅のしおりを完成させていて、事前学習の充実を感じさせるものでした。

さて、旅行中ですが、子供たちは公共のマナーをしっかりと守り、場に応じた行動・振る舞いを心がけていました。多くの修学旅行生はもちろんのこと、町の住人の方々とも度々すれ違いましたが、子供たちは自分からあいさつを心がけていました、さらに、時間いっぱい活動しようとする前向きさもあり、とても嬉しく思いました。多くの方が亡くなり、また、現在も多くの人が祈りを捧げている長崎市中心の各戦争関連施設では、語り部さんのお話をしっかりと聞き、写真や資料をじっくり見て、様々なメッセージを受け取っているかのようでした。昨年度もお世話になった語り部の田中さん(80代)からは、温かく、そして人間としての生き方を考えさせられるような貴重な言葉をたくさんいただきました。後の感想交流では、「田中さんが言っておられたように・・・」「田中さんの言葉で〇〇がとても心に残った」という感想が圧倒的に多かったです。田中さんは、真剣なまなざしの子供たちを見て「本当にいい子たちだね～」と、何度もつぶやいておられました。

解散式でも言いましたが、戦争や平和のこと、命のこと、人権のことなどは、それらについて考え、学ぶことに「終わり」はありません。考え続けることによってのみ、この社会がよりよいものに近づいていく原動力を生み出せるような気がしています。

昨年度も田中さんが示してくださった言葉があります。それは、「『平和』とは、何でもない、当たり前の、平凡な日々の連続」という言葉。私自身、昨年聞いたときと、今年聞いたときでは、また違った感じ方をしました。現在、11歳、12歳の子供たちはどのように考えたのでしょうか。様々な困難

をくぐってこられた方々の言葉は非常に重いです。毎日、ただ目の前のことに流されてしまふようなときは、深呼吸してこの言葉と向き合いながら生活していこうと思います。保護者の皆様をはじめ、今回子供たちに大きな学びを経験させていただいたすべての方々に感謝申し上げます。

